

平成28年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市秋葉区文化会館		
管理者名	トールツリーグループ	指定期間	平成25年6月1日 ～ 平成30年3月31日
担当課	秋葉区地域課		
所在地	新潟市秋葉区新栄町4番23号		
根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律		
設置条例	新潟市秋葉区文化会館条例		
施設概要	敷地面積：17,165.34㎡ 建築構造：鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 延床面積：2,997.36㎡ 諸室：ホール（496席）、練習室1・2、スタジオ、楽屋兼会議室1・2、控室兼会議室		

施設設置目的

地域における文化活動及び芸術活動の拠点として、市民に音楽、演劇等の鑑賞の機会を提供し、並びに市民の文化活動及び芸術活動を支援することにより、これらを通じた市民相互の交流を推進し、及び地域文化の振興を図ること

管理・運営に関する基本理念，方針等

1 事業理念

地域の伝統芸能の発展や新たな文化活動の胎動を促すことはもとより、様々な文化的・人的な交流を生み出し、地域におけるひとつづくり・まちづくりの中心的役割を果たすこと

2 事業の運営方針

(1) 文化芸術活動の日常化・高度化の支援

- ア 地域の子どもと文化芸術の距離を縮めることで、文化活動のすそ野拡大と将来の芸術家を育成する。
- イ 文化芸術に対する一般市民の関心と理解を深め、気軽に鑑賞・実演参加できる機会を創出する。
- ウ 高水準で多彩な実演芸術に触れる機会を提供し、地域の文化活動の更なる高まりを支援する。
- エ 地域で活動する新たな人材を育成する。

(2) 新しい学びと交流の場の創出

- ア 文化・教育の拠点として、様々な分野の文化が刺激し合うコミュニケーションの場を創出する。
- イ 気軽に立ち寄れる企画実施により、アットホームな雰囲気醸成する。

(3) 地域と連携・協働での会館運営

- ア 地域や利用者とともに自主事業等の企画・運営を協働して実施する。
- イ 管理運営をサポートする市民組織の構築・育成を行う。

(4) 地域性を活かした事業展開

地域性を活かしたオリジナリティのある事業を継続的に展開する。

3 施設の管理運営方針

- (1) 当該業務について善良なる管理者の注意をもって実施する義務を負うものとする。
- (2) 施設の設置の目的を踏まえて、各施設との適正な一体的な管理によりその効用を最大限発揮させるよう、努力するものとする。
- (3) 業務全般について計画立案を行い、目標及び業務計画を策定し、その一元的な管理方針のもとで、仕様書に示す多岐にわたる業務について適切に進捗管理を行い実施するものとする。
- (4) 指定管理者は、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営等により、各施設利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な管理運営を目指すものとする。
- (5) 施設利用者や地元等からの要望等に対し、公の施設の管理運営の公益性に鑑み、公平・中立を是としてその運営にあたるものとする。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	基準稼働率の達成	ホールの稼働率 年間40%以上	ホール年間稼働率 61%	A	指標を大幅に上回って達成。
		スタジオ・練習室の回転率(コマ数) 年間45%以上	スタジオ, 練習室1・2 の回転率51%	B	
	各種サービス別 満足度	利用者アンケートで「満足」が85% 以上	各種サービス別で平均 95%	A	指標を大幅に上回って達成。
	苦情・要望への対応	苦情・要望には原則5営業日以内 に対応	HPからのお問い合わせ 等は原則24時間以内 に対応	B	
	文化事業の実施	自主文化事業の鑑賞機会を 年間7事業以上実施	鑑賞事業年間11事業	A	
設置目的に合致した普及, 育成, 創造型事業を効果的実施		合唱団, アドバイザ リー委員企画, 秋葉 区, 薬科大学との連 携, 0歳からを対象とし た事業等を実施	A	市が要望する事業展開をよく 理解し, 効果的に事業を実 施。	
財 務	適正な財政運営	収支計画に基づく収入の確保及び 経費の執行	収支計画に基づき業 務を適切に実施	B	
	適正な財務管理	財務マニュアルの作成及び収支状 況の適切な記録	本社作成の経理マ ニュアルに従い, 事務 処理を行い, 本社に 報告	B	
	市の歳入の確保	使用料収入を 月平均715千円以上	月平均679,232円	C	
業 務	安全責任者の配置と 安全確保体制の確 立	防災訓練の実施 年2回以上	秋葉消防署との合同 訓練を含め2回実施。 また, 危機管理研修を 2回実施	B	
	事件・事故発生時の 対応の適切さ	AEDの使用方法的周知徹底	町内会を含む研修, 職員研修, 計2回実施	A	地域にも開かれた研修を実施 した。
	業務仕様書等に定 める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項 の遵守	遵守に努めた	B	
人 材	職員研修の実施	内部・外部実務研修の実施 1人あたり年2回以上	1人当たり年5回以上 の研修	B	
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	遵守に努めた	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

○ホールの稼働率, 回転率, 利用者が向上し, また, ロビー等の利用者が増加したことで, 年間利用者数は前年より3万人以上増え, 開館以来初めて10万人を突破して, 11万4314人を数えました。これは, 設置時に考えられた, 「イベント時のにぎわい」と「イベントがなくても気軽に立ち寄れる場所」としての機能を, それぞれ果たしつつある成果かと考えます。

○自主事業では, 秋葉区や新潟薬科大学との連携, また0歳児からの親子を対象とした事業や, 地域で活動するアーティストを応援する公演等, 昨年より5件多い事業に取り組み, 地域の人たちへ, 来場(参加)を促す機会を創出しました。

○利用者数や事業の取り組みが増加した一方, 使用料収入は(昨年度をわずかに上回ったものの)基準値を下回る結果となりました。今後は, 増加した会館利用者, まだ会館の利用経験がない(少ない)層と, それぞれに向けて広告物を作成・配布してアピールを図り, 目標達成を目指します。

所管課による総合評価(所見)

利用者数の増加に使用料収入が比例せず, 評価指標達成が難しい状況が続いている。広報宣伝の強化による新規利用者の掘り起こしと収入増に向けた取り組みを引き続きお願いしたい。その他の評価項目については, 概ね目標を上回る成果を挙げており, 適正に会館を運営したものと評価する。文化事業については, 市(秋葉区)が考える施策をよく理解し, 地域の文化団体や新潟薬科大学との連携に努めた。平成29年度は指定管理期間の最終年度となるので, これまでの集大成となるような事業展開を期待したい。